

(様式第9)

岡大病総第 129号
平成22年10月4日

厚生労働大臣

殿

岡山大学病院長
森 田

岡山大学病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和23年法律第205号）第12条の3の規定に基づき、平成21年度の業務に関する報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照（様式第10）
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照（様式第11）
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	86人
--------	-----

（注）前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法
→ 別紙参照（様式第12）
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績
→ 別紙参照（様式第13）

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医 師	232人	288人	448.1人	看護補助者	2人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	97人	39人	117.0人	理学療法士	14人	臨床検査技師	60人
薬剤師	52人	0人	52.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0人	視能訓練士	4人	検査その他	0人
助産師	24人	0人	24.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	850人	20人	863.6人	臨床工学技士	17人	医療社会事業従事者	6人
准看護師	1人	0人	1.0人	栄養士	6人	その他の技術員	12人
歯科衛生士	16人	1人	16.7人	歯科技工士	7人	事務職員	238人
管理栄養士	1人	0人	1.0人	診療放射線技師	44人	その他の職員	9人

（注）1 報告を行う当該年度の10月1日現在の員数を記入すること。

2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。

3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下2位を切り捨て、小数点以下1位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	670.8人	17.6人	688.4人
1日当たり平均外来患者数	1,634.3人	600.3人	2,234.6人
1日当たり平均調剤数		1,224.8剤	

- （注）1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数（毎日の24時現在の在院患者数の合計）を曆日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ曆日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

1 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
胎児心超音波	28人
インプラント義歯	17人
頸関節症の補綴学的治療	2人
光学印象採得による陶材歯冠修復法	0人
鏡視下肩峰下腔除圧術	0人
超音波骨折治療法	0人
腹腔鏡下直腸固定術	0人
先天性難聴の遺伝子診断	0人
大腸腫瘍に対する内視鏡的粘膜下層剥離術	22人
腋窩リンパ節郭清術の実施前におけるセンチネルリンパ節の同定及び生検 (H21年10月～H22年3月31日)	49人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の同定、転移の検索及び遺伝子診断 (H21年10月～H22年3月31日)	5人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第二各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

2 承認を受けている先進医療の種類(注1)及び取扱患者数

先進医療の種類	取扱患者数
内視鏡下頸部良性腫瘍摘出術	2人
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断 (H21年4月～H22年9月30日)	6人
腫瘍性骨病変及び骨粗鬆症に伴う骨脆弱病変に対する経皮的骨形成術	10人
悪性黒色腫又は乳がんにおけるセンチネルリンパ節の同定と転移の検索 (H21年4月～H22年9月30日)	49人
胸部悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	58人
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	23人
骨腫瘍のCT透視ガイド下経皮的ラジオ波焼灼療法	2人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人
	人

(注1) 「先進医療の種類」欄には、厚生労働大臣の定める先進医療及び施設基準(平成二十年厚生労働省告示
第百二十九号)第三各号に掲げる先進医療について記入すること。

(注2) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

3 その他の高度の医療

医療技術名	生体部分肺移植	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 肺移植は末期肺疾患に対する有効な治療法である。健康な2人のドナーから肺の一部の提供を受け、レシピエントに移植する。1人目のドナーから右下葉を、2人目のドナーから左下葉を摘出し、それぞれをレシピエントの右肺、左肺として移植する術式である。			
医療技術名	生体部分肝移植	取扱患者数	26人
当該医療技術の概要 肝移植は末期肝疾患並びに急性肝不全(劇症肝炎など)に対する有効な治療法であり、当院では豊富な経験のもとに良好な実績を積んでいる。			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

高度の医療の提供の実績

4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾 患 名	取扱患者数	疾 患 名	取扱患者数
・ベーチェット病	128人	・膿疱性乾癥	12人
・多発性硬化症	61人	・広範脊柱管狭窄症	11人
・重症筋無力症	133人	・原発性胆汁性肝硬変	89人
・全身性エリテマトーデス	271人	・重症急性胰炎	7人
・スモン	18人	・特発性大腿骨頭壊死症	98人
・再生不良性貧血	53人	・混合性結合組織病	34人
・サルコイドーシス	114人	・原発性免疫不全症候群	9人
・筋萎縮性側索硬化症	65人	・特発性間質性肺炎	32人
・強皮症、皮膚筋炎及び多発性筋炎	204人	・網膜色素変性症	39人
・特発性血小板減少性紫斑病	56人	・プリオント病	2人
・結節性動脈周囲炎	75人	・肺動脈性肺高血圧症	43人
・潰瘍性大腸炎	271人	・神経線維腫症	36人
・大動脈炎症候群	29人	・亜急性硬化性全脳炎	1人
・ビュルガー病	21人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	6人
・天疱瘡	42人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	7人
・脊髄小脳変性症	87人	・ライソゾーム病	2人
・クローン病	99人	・副腎白質ジストロフィー	3人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	2人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	1人
・悪性関節リウマチ	25人	・脊髄性筋委縮症	3人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	359人	・球脊髄性筋委縮症	7人
		・慢性炎症性脱髓性多発神経炎	9人
・アミロイドーシス	8人	・肥大型心筋症	6人
・後縫靭帯骨化症	112人	・拘束型心筋症	0人
・ハンチントン病	2人	・ミトコンドリア病	2人
・モヤモヤ病(ウィリス動脈輪閉塞症)	91人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	6人
・ウェグナー肉芽腫症	15人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	1人
・特発性拡張型(うつ血型)心筋症	88人	・黄色靭帯骨化症	3人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オーリープ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	49人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH 分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング 病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	93人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	4人		

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。

高度の医療の提供の実績

5 健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法に先進医療から採り入れられた医療技術

施設基準等の種類	施設基準等の種類
・胎児心超音波検査	・
・生体部分肺移植	・
・乳がんセンチネル検査	・
・悪性黒色腫センチネル検査	・
・歯周組織再生誘導法	・
・接着プリッジによる欠損補綴及び動搖歯固定	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・
・	・

(注)「施設基準等の種類」欄には、業務報告を行う3年前の4月以降に、健康保険法の規定による療養に要する費用の額の算定方法(平成六年厚生省告示第五十四号)に先進医療(当該病院において提供していたものに限る。)から採り入れられた医療技術について記入すること。

6 病理・臨床検査部門の概要

臨床検査及び病理診断を実施する部門の状況	①. 臨床検査部門と病理診断部門は別々である。 2. 臨床検査部門と病理診断部門は同一部門にまとめられている。
臨床部門が病理診断部門或いは臨床検査部門と開催した症例検討会の開催頻度	80回程度
部 檢 の 状 況	部検症例数 31 例 / 部検率 13.70%

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
肝癌進展と血管新生の新規メカニズム	白羽 英則	消化器内科	千円 1,430	(補)文部科学省科学研 究費補助金 委
難治性の肝・胆道疾患に関する調査研究	山本 和秀	消化器内科	500	(補)文部科学省科学研 究費補助金 委
血小板低値例へのインターフェロン治療法の確立を目指した基礎及び臨床的研究	山本 和秀	消化器内科	800	(補)厚生労働科学研究 費補助金 委
肝がんの新規治療法に関する研究	山本 和秀	消化器内科	2,000	(補)厚生労働科学研究 費補助金 委
上皮成長因子受容体遺伝子変異陽性肺癌の根治治療開発を目指した動物実験モデルの樹立	木浦 勝行	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内 科	1,500	(補)文部科学省科学研 究費補助金 委
制御性T細胞とTh17細胞を標的とした慢性移植片対宿主病治療の開発	前田 嘉信	血液・腫瘍内科	1,257	(補)文部科学省科学研 究費補助金 委
CD40活性化B細胞の抗原処理、提示能、および抗原特異的T細胞誘導能の検討	近藤 英生	血液・腫瘍内科	1,100	(補)文部科学省科学研 究費補助金 委
非喫煙者肺癌モデルを用いた細気管支肺胞上皮癌より浸潤癌への進展機構の解明	瀧川 奈義夫	呼吸器・アレルギー内 科	2,096	(補)文部科学省科学研 究費補助金 委
アレルギー性気道反応における経口免疫寛容の効果	宮原 信明	呼吸器・アレルギー内 科	1,572	(補)文部科学省科学研 究費補助金 委
糖尿病性腎症における核内受容体LXRの分子機構の解明と治療応用	小川 大輔	腎臓・糖尿病・内分泌 内科	1,700	(補)文部科学省科学研 究費補助金 委
SHP-1をターゲットとした腎性貧血治療の可能性についての検討	赤木 滋	腎臓・糖尿病・内分泌 内科	1,400	(補)文部科学省科学研 究費補助金 委
糖尿病性腎症の病態解明と新規治療法確立のための評価法の開発	楳野 博史	リウマチ・膠原病内科	800	(補)厚生労働科学研究 費補助金 委
抗好中球細胞質抗体関連血管炎患者のgenomicDNA収集に関する研究	楳野 博史	リウマチ・膠原病内科	500	(補)厚生労働科学研究 費補助金 委
糖尿病性腎症治療ターゲットとしての核内受容体の研究	楳野 博史	リウマチ・膠原病内科	1,060	(補)文部科学省科学研 究費補助金 委
gp91phox遺伝子に対するsiRNAを用いた心不全に伴う心室性不整脈の治療	中村 一文	循環器内科	800	(補)文部科学省科学研 究費補助金 委
原発性肺高血圧症患者の肺動脈平滑筋細胞における異常増殖・アポトーシス低下の機序の解明	中村 一文	循環器内科	1,100	(補)国立循環器病セン ター 委
心サルコイドーシスにおける不整脈の検討	草野 研吾	循環器内科	900	(補)国立循環器病セン ター 委
後天的QT延長症候群における自己免疫的機序の関与	草野 研吾	循環器内科	1,500	(補)国立循環器病セン ター 委
酸化ストレス応答ナノバイオプラットフォーム設計	阿部 康二	神経内科	2,000	(補)文部科学省科学研 究費補助金 委
ALSの分子メカニズムの解明と遺伝子・再生療法	阿部 康二	神経内科	5,900	(補)文部科学省科学研 究費補助金 委

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
優性遺伝性非翻訳リピート病の異常スプライシング病態研究	松浦 徹	神経内科	千円 700	補 文部科学省科学研 究費補助金
変異SOD1導入グリアが引き起こす運動ニューロン傷害機序の解明	永井 真貴子	神経内科	1,900	補 文部科学省科学研 究費補助金
PTD融合タンパクを用いた脊髄小脳変性症の画期的治療法の開発と新規原因遺伝子同定	池田 佳生	神経内科	1,600	補 文部科学省科学研 究費補助金
非翻訳リピート病－SCA10・DM2異常伸長リピートRNAの代謝制御	松浦 徹	神経内科	8,500	補 文部科学省科学研 究費補助金
特定疾患患者の自立支援体制の確立に関する研究 (班長:今井尚志)	阿部 康二	神経内科	600	補 厚生労働科学研究 費補助金
重症難病患者の地域医療体制の構築に関する研究 (班長:糸山泰人)	阿部 康二	神経内科	1,000	補 厚生労働科学研究 費補助金
神経変性疾患に関する調査研究 (班長:中野今治)	阿部 康二	神経内科	1,000	補 厚生労働科学研究 費補助金
筋萎縮性側索硬化症の病態に基づく画期的治療法の開発 (班長:祖父江元)	阿部 康二	神経内科	900	補 厚生労働科学研究 費補助金
スモンに関する調査研究 (班長:小長谷正明)	阿部 康二	神経内科	700	補 厚生労働科学研究 費補助金
プリオント病及び遅発性ウイルス感染症の調査研究 (班長:水澤英洋)	阿部 康二	神経内科	1,000	補 厚生労働科学研究 費補助金
運動失調症に関する調査研究 (班長:西澤正豊)	池田 佳生	神経内科	1,500	補 厚生労働科学研究 費補助金
日本人脆弱X症候群の実態調査研究 (班長:難波栄二)	松浦 徹	神経内科	1,000	補 厚生労働科学研究 費補助金
筋強直性ジストロフィーのスプライシング異常を補正する既認可薬オフラベル薬効の患者培養細胞・動物実験における検証	松浦 徹	神経内科	1,500	補 科学技術振興機構 委
人工心肺回路を用いた蘇生肺移植	大藤 剛宏	呼吸器外科	3,000	補 厚生労働科学研究 費補助金
不死化関連遺伝子群によるOncogenic Ras制御と前立腺癌化抑制機構の解明	公文 裕巳	泌尿器科	5,100	補 文部科学省科学研 究費補助金
新規マイクロリアクターの開発とDDSを基盤とする抗バイオフィルム療法の探索	公文 裕巳	泌尿器科	1,600	補 文部科学省科学研 究費補助金
癌特異的プロモーター活性を飛躍的に上昇させる改良型TSTAシステムの開発	渡部 昌実	泌尿器科	2,940	補 文部科学省特別電 源所在県科学技術 委振興事業
樹状様細胞誘導能を示す新規抗腫瘍タンパクの基盤的展開研究	那須 保友	泌尿器科	3,800	補 文部科学省科学研 究費補助金

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
前立腺癌を標的とした音響穿孔法によるIL12免疫遺伝子治療の開発研究	雑賀 隆史	泌尿器科	千円 800	補 文部科学省科学研究費補助金 委
アポトーシス誘導新規前立腺癌遺伝子治療と放射線療法併用に関する基盤的研究	枝村 康平	泌尿器科	1,500	補 文部科学省科学研究費補助金 委
大腸菌性尿路感染症対策としての抗バイオフィルム剤探索とその基盤技術の開発	和田 耕一郎	泌尿器科	1,200	補 文部科学省科学研究費補助金 委
膀胱癌に対する細胞膜透過性ペプチドによるp53ペプチド導入治療法の開発研究	渡辺 豊彦	泌尿器科	1,000	補 文部科学省科学研究費補助金 委
虚血再還流障害に関する研究—ドキシサイクリンは50年の沈黙を破れるか	荒木 元朗	泌尿器科	1,500	補 文部科学省科学研究費補助金 委
難治性尿路感染症対策としての抗バイオフィルム剤探索とその基盤技術の開発	上原 慎也	泌尿器科	2,700	補 文部科学省科学研究費補助金 委
院内感染症としての多剤耐性緑膿菌尿路バイオフィルムの病原的意義	狩山 玲子	泌尿器科	1,300	補 文部科学省科学研究費補助金 委
先端技術創出国際共同研究「アジア人の癌体质と遺伝子治療共同臨床研究」	公文 裕巳	泌尿器科	21,366	補 文部科学省科学技術振興調整費 委
「ナノバイオ標的医療の融合的創出拠点の形成」融合的基盤研究	公文 裕巳	泌尿器科	68,997	補 文部科学省科学技術振興調整費 委
稀少難治性皮膚疾患に関する調査研究	岩月 啓氏	皮膚科	70,000	補 厚生労働科学研究 委 費補助金
EBウイルス潜伏感染による疾患スベクトラムと病態解明	岩月 啓氏	皮膚科	3,900	補 文部科学省科学研究費補助金 委
難治性血管炎に関する調査研究	岩月 啓氏	皮膚科	1,300	補 厚生労働科学研究 委 費補助金
悪性黒色腫におけるセンチネルリンパ節の遺伝子診断	岩月 啓氏	皮膚科	500	補 厚生労働科学研究 委 費補助金
稀少難治性皮膚疾患克服の為の生体試料の収集	岩月 啓氏	皮膚科	600	補 厚生労働科学研究 委 費補助金
リンパ球系悪性腫瘍に対するHDAC阻害剤の不応性のメカニズムと予測因子の解析	藤井 一恭	皮膚科	1,820	補 文部科学省科学研究費補助金 委
デフェンシン抗菌活性の決定因子	白藤 宜紀	皮膚科	1,820	補 文部科学省科学研究費補助金 委
皮膚癌の免疫回避機構と腫瘍特異抗原蛋白を用いた免疫療法に関する研究	辻 和英	皮膚科	1,430	補 文部科学省科学研究費補助金 委
カプセル化神経幹細胞移植を用いた新しい脳卒中治療戦略	伊達 勲	脳神経外科	4,700	補 文部科学省科学研究費補助金 委
グリオーマに対する腫瘍溶解ウイルス療法における血管新生因子CYR61の発現影響	杉生 奨志	脳神経外科	1,200	補 文部科学省科学研究費補助金 委

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
もやもや病に対するVEGF遺伝子導入と骨髓幹細胞移植のダブル治療	徳永 浩司	脳神経外科	千円 1,500	補 文部科学省科学研究費補助金委
パーキンソン病はDBSで治るのか?: バイオマーカーによる治療効果予測と共に	三好 康之	脳神経外科	1,500	補 文部科学省科学研究費補助金委
血管透過性蛋白11Rによる脳卒中の治療効果に関する研究	小野 成紀	脳神経外科	1,100	補 文部科学省科学研究費補助金委
オノコリティックウイルス治療における腫瘍マイクロエンバイロンメントの調節	黒住 和彦	脳神経外科	1,700	補 文部科学省科学研究費補助金委
脳深部刺激療法による損傷海馬の神經新生と神經回路再生	上利 崇	脳神経外科	1,700	補 文部科学省科学研究費補助金委
廃用症候群に対する骨髓幹細胞移植とリハビリを用いたダブル治療	安原 隆雄	脳神経外科	1,600	補 文部科学省科学研究費補助金委
蛋白質セラピー法とバイオナノカプセルによる持続性脳腫瘍治療薬の開発	伊達 眞	脳神経外科	2,000	補 厚生労働科学硏究費補助金委
生活習慣病増悪フェーズの鍵分子「HMGB1」に対する分子標的抗体薬の臨床応用研究	伊達 真	脳神経外科	2,000	補 厚生労働科学硏究費補助金委
正常圧水頭症の疫学・病態と治療に関する研究	伊達 真	脳神経外科	1,000	補 厚生労働科学硏究費補助金委
発達期における骨格系と脳脊髄液循環動態の発生学的特性に基づく高次脳脊髄機能障害の治療および総合医療に関する研究	伊達 真	脳神経外科	1,000	補 厚生労働省精神・神経疾患研究委託費委
びまん性軸索損傷に対するリハビリと神經新生	安原 隆雄	脳神経外科	1,000	補 日本損害保険協会委
頭部外傷モデル動物に対するカルバミル化エリスロポイエチンヒトIgG Fc部融合タンパク(cEPO-Fc)を用いた前臨床研究	安原 隆雄	脳神経外科	1,000	補 かなえ医薬振興財団委
難治性疼痛に対する仮想現実鏡治療の効果検証	佐藤 健治	麻酔科蘇生科	1,000	補 文部科学省科学研究費補助金委
脳由来神経成長因子をターゲットにした癌性疼痛の遺伝子治療	溝渕 知司	麻酔科蘇生科	1,000	補 文部科学省科学研究費補助金委
咽頭冷却による脳低体温療法の開発	武田 吉正	麻酔科蘇生科	33,744	補 厚生労働科学硏究費補助金委
インフルエンザ脳症など重症インフルエンザの発症機序の解明とそれに基づく治療法・予防方法の確立に関する研究	森島 恒雄	小児科	57,200	補 厚生労働科学硏究費補助金委
B型肝炎の母子感染および水平感染の把握とワクチン戦略の再構築に関する研究	森島 恒雄	小児科	31,668	補 厚生労働科学硏究費補助金委
急性呼吸器感染症の感染メカニズムと疫学、感染予防・制御に関する研究	森島 恒雄	小児科	14,620	補 厚生労働科学硏究費補助金委

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
急性脳炎・脳症のグルタミン酸受容体自己免疫病態の解明・早期診断・治療法確立に関する臨床研究	森島 恒雄	小児科	千円 1,100	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
副反応サーベイランス体制の検討に関する研究	森島 恒雄	小児科	3,000	補 厚生労働科学硏究費補助金
急性脳炎・脳症の解明及びそれに基づく治療法・予防方法の確立に関する研究	森島 恒雄	小児科	14,950	補 文部科学省科学硏究費補助金 委
遺伝性ネフローゼ症候群原因分子と相互作用する蛋白群の同定と発生機序の解析	綾 邦彦	小児科	19,500	補 文部科学省科学硏究費補助金 委
骨髓間葉系幹細胞のユーリング肉腫に対する抗腫瘍効果	宮村 能子	小児科	1,300	補 文部科学省科学硏究費補助金
変異FGFR3と頭蓋形成異常の分子病態の解明:副甲状腺ホルモンの作用を中心として	長谷川 高誠	小児科	1,300	補 文部科学省科学硏究費補助金 委
四肢短縮型小人症の新規遺伝子診断基準作成研究	長谷川 高誠	小児科	22,000	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
非致死性骨形成不全症の実態把握と治療指針作成	長谷川 高誠	小児科	26,000	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
プリオントウ病及び遅発性ウイルス感染症に関する調査研究	大塚 頌子	小児神経科	200	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
小児等の特殊患者に対する医薬品の製剤改良その他有効性及び安全性の確保のあり方に関する研究	大塚 頌子	小児神経科	400	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
てんかんに対する新たな治療法開発と標準化に関する研究	大塚 頌子	小児神経科	650	補 国立精神・神経センター精神・神経 委 疾患研究委託費
脳形成異常の成立機序の解明と治療法確立のための融合的研究	小林 勝弘	小児神経科	1,500	補 国立精神・神経センター精神・神経 委 疾患研究委託費
乳幼児破局てんかんの実態と診療指針に関する研究	小林 勝弘	小児神経科	2,000	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
胸部悪性腫瘍のラジオ波焼灼療法に関する研究	金澤 右	放射線科	8,000	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
腎悪性腫瘍に対するラジオ波焼灼療法	三村 秀文	放射線科	8,000	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
急性呼吸不全に対する一酸化炭素吸入療法の開発	高橋 徹	集中治療部	1,100	補 文部科学省科学硏究費補助金 委
骨形成蛋白を介する副腎皮質のアルドステロン分泌とブレイクスルー発生機序の解明	鈴木 二郎	内分泌センター	1,400	補 文部科学省科学硏究費補助金 委
在宅医療への遠隔医療実用実施手順の策定	岡田 宏基	総合患者支援センター	300	補 厚生労働科学硏究費補助金 委
進行食道癌に対するテロメラーゼ活性を標的とする新規アデノウイルス製剤の創薬研究	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	5,500	補 文部科学省科学硏究費補助金 委

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
テロメラーゼ依存性蛍光発現ナノバイオ・ウイルス製剤を標識薬剤とする高感度リアルタイム微小癌転移イメージングシステムの開発	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	千円 44,990	(補) 厚生労働科学硏究費補助金委
放射線感受性ナノバイオ・ウイルス製剤の開発と難治性固形癌に対する臨床応用の検討	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	21,000	(補) 厚生労働科学硏究費補助金委
がん治療のための革新的新技術の開発に関する総合的な研究	藤原 俊義	遺伝子・細胞治療センター	6,000	(補) 厚生労働科学硏究費補助金委
口腔内細菌叢の変化を指標にした後期高齢者の高齢性肺炎の予知診断システムの開発	高柴 正悟	歯周科	11,800	(補) 厚生労働科学硏究費補助金委
歯周病等の口腔内感染巣が白血病治療患者の好中球減少性発熱に及ぼす影響	曾我 賢彦	歯周科	1,560	(補) 文部科学省科学硏究費補助金委
実験的再生歯の臨床応用に関する研究	窪木 拓男	補綴科(クラウンブリッジ)	5,400	(補) 厚生労働科学硏究費補助金委
歯の再生に利用可能なヒトを含む大型動物からの細胞シードの検索と歯根の再生技術の開発	窪木 拓男	補綴科(クラウンブリッジ)	15,000	(補) 株式会社オーガンテクノロジーズ委
三叉神経痛において生じている一次侵害受容神経過敏化のメカニズムの解明と治療法開発	松香 芳三	補綴科(クラウンブリッジ)	2,990	(補) 文部科学省科学硏究費補助金委
新規間葉系幹細胞のヒト幼弱智歯歯胚からの分離と象牙質再生への応用	完山 学	補綴科(クラウンブリッジ)	1,400	(補) 文部科学省科学硏究費補助金委
歯髄幹細胞と歯根膜幹細胞を用いた機能的歯根再生の実現	園山 亘	補綴科(クラウンブリッジ)	6,630	(補) 文部科学省科学硏究費補助金委
咬合感覺異常症診断に向けての歯根膜感覺閾値検査の確立	皆木 省吾	補綴科(咬合・義歯)	6,630	(補) 文部科学省科学硏究費補助金委
咀嚼の回復による認知症の発症予防-海馬の記憶関連遺伝子に関する分子生物学的解析-	原 哲也	補綴科(咬合・義歯)	2,730	(補) 文部科学省科学硏究費補助金委
プラキシズム存在下における各類口腔疾病への枝分かれ要因に関する前向きコホート研究	西川 悟郎	補綴科(咬合・義歯)	780	(補) 文部科学省科学硏究費補助金委
ジルコニア表面に発現するマルテンサイト型相変態は接着力を低下させる	丸尾 幸憲	補綴科(咬合・義歯)	1,950	(補) 文部科学省科学硏究費補助金委
二次骨化中心形成過程における組織再生因子CCN2の発現様式と細胞外環境の解析	岡 森彦	補綴科(咬合・義歯)	2,470	(補) 文部科学省科学硏究費補助金委
咬合感覺異常の解釈モデル構築-歯根膜感覺閾値からの検討-	沖 和広	補綴科(咬合・義歯)	3,250	(補) 文部科学省科学硏究費補助金委
悪心・嘔吐に関する神経生理学的解析～過分極作動性カチオンチャンネルの役割～	兒玉 直紀	補綴科(咬合・義歯)	2,860	(補) 文部科学省科学硏究費補助金委
舌全摘患者に用いる新規「構音補助アプライアンス」の開発	洲脇 道弘	補綴科(咬合・義歯)	1,365	(補) 文部科学省科学硏究費補助金委

小計 18件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元
血管新生因子angiogeninを分子標的とした癌の骨破壊制御に関する基礎的検討	佐々木 朗	口腔外科(病態系)	千円 2,730	補 文部科学省科学研究費補助金委
FAKシグナルを標的とした癌誘発骨破壊病変に対する新たな治療戦略の開発	志茂 剛	口腔外科(病態系)	5,200	補 文部科学省科学研究費補助金委
Angiogeninを介する血管内皮前駆細胞の分化誘導と腫瘍血管新生機構の解明	岸本 晃治	口腔外科(病態系)	1,430	補 文部科学省科学研究費補助金委
頸変形症治療による情動コミュニケーション障害の改善に関する研究	西山 明慶	口腔外科(病態系)	1,300	補 文部科学省科学研究費補助金委
AP-1デコイDNAによるシスプラチン誘発恶心反応の抑制-核酸医薬開発への試み-	塚本 剛一	口腔外科(病態系)	1,950	補 文部科学省科学研究費補助金委
頭頸部癌SEREX抗原の同定と、理想的ながん抗原の選択	銅前 昇平	口腔外科(病態系)	1,430	補 文部科学省科学研究費補助金委
優勢阻害型p53変異体を持つ新しい機能の同定	佐々木 朗	口腔外科(病態系)	800	補 文部科学省科学研究費補助金委
口腔領域におけるダイナミックMRIに関する研究	浅海 淳一	歯科放射線・口腔診断科	1,430	補 厚生労働科学硏究費補助金委
口腔癌における dynamic CE-MRI を用いたリンパ節転移の潜在性の評価	此内 浩信	歯科放射線・口腔診断科	1,040	補 厚生労働科学硏究費補助金委
DHNAを用いた新規骨粗鬆症治療法の開発	村上 純	歯科放射線・口腔診断科	1,040	補 厚生労働科学硏究費補助金委
テラーメード医療に向けたDNAエピジェネティックス定量	松崎 秀信	歯科放射線・口腔診断科	1,430	補 厚生労働科学硏究費補助金委
口蓋裂の発生機序を解明する新たなアプローチ	山城 隆	矯正歯科	1,400	補 文部科学省科学研究費補助金委
オートファジーが口蓋と顎・顔面・頭蓋の形成に果たす役割を考える	山城 隆	矯正歯科	5,200	補 文部科学省科学研究費補助金委
人為制御された骨細胞ネットワークの機械的刺激応答能について	上岡 寛	矯正歯科	1,100	補 文部科学省科学研究費補助金委
ヒト乳歯幹細胞の同定および純化に関する研究	川邊 紀章	矯正歯科	2,600	補 文部科学省科学研究費補助金委
骨系細胞はいかにして機械的刺激を感じるか? —アクチン結合タンパクの役割を探る—	本城 正	矯正歯科	1,100	補 文部科学省科学研究費補助金委
幹胞からの象牙芽細胞、エナメル芽細胞分化の位置情報付与能の確立	黒坂 寛	矯正歯科	2,700	補 文部科学省科学研究費補助金委
歯の移動によって生じる痛みのメカニズムを探る新たなアプローチ	村上 隆	矯正歯科	1,400	補 文部科学省科学研究費補助金委
矯正治療時に生じる疼痛の発生機序とその抑制	藪内 利憲	矯正歯科	1,300	補 文部科学省科学研究費補助金委
歯周病と血液・唾液中の酸化ストレス度・抗酸化力との関係	玉木 直文	予防歯科	1,950	補 文部科学省科学研究費補助金委

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額	補助元又は委託元	
障害者の生涯にわたる口腔のQOL向上を目的とした地域連携クリティカル・パス開発	江草 正彦	特殊歯科総合治療部	千円 4,500	補文部科学省科学研究所費補助金 委	小計 1件
				補委	合計 133 件

(注) 1 国、地方公共団体又は公益法人から補助金の交付又は委託を受け、当該医療機関に所属する医師等が申請の前年度に行った研究のうち、高度の医療技術の開発及び評価に資するものと判断される主なものを記入すること。

2 「研究者氏名」欄は、1つの研究について研究者が複数いる場合には、主たる研究者の氏名を記入すること。

3 「補助元又は委託元」欄は、補助の場合は「補」に、委託の場合は「委」に、○印をつけた上で、補助元又は委託元を記入すること。

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Acta Med Okayama 63:35-42,2009	Olmesartan and temocapril prevented the development of hyperglycemia and the deterioration of pancreatic islet morphology in otsuka-long-evans-tokushima fatty rats.	Nakamura Y	総合診療内科
Surgical Endoscopy 23:2066-72,2009	Quantitative assessment of technical proficiency in performing needle-knife precut papillotomy	Kawamoto H	消化器内科
Journal of Clinical Gastroenterology 43:69-74,2009	Feasibility and Findings of Colonoscopy for Living-donor Liver Transplant Candidates.	Kato J	消化器内科
Gastrointestinal Endoscopy. 70:550-551.2009	Endoscopic removal of a fishhook in the esophagus	Yamamoto K	消化器内科
Hepatology International. 3:468-479.2009	A randomized trial of 24 versus 48 weeks of peginterferon alpha-2a in patients infected with chronic hepatitis C virus genotype 2 or low viral load genotype 1: a multicenter national study in Japan.	Iwasaki Y	消化器内科
Clin Gastroenterol Hepatol. 7:1341-1346.2009	Combination of sigmoidoscopy and a fecal immunochemical test to detect proximal colon neoplasia.	Kato J	消化器内科
Hepatol Res. 39:241-246.2009	Clinical features of antinuclear antibodies-negative type 1 autoimmune hepatitis.	Miyake Y	消化器内科
J Gastroenterol. 44:470-475.2009	Meta-analysis: the effect of interferon on development of hepatocellular carcinoma in patients with chronic hepatitis B virus infection	Miyake Y	消化器内科
Hepatol Res. 2009;39:546-552.	Clinical characteristics of drug-induced liver injury in the elderly.	Yamamoto K	消化器内科
Ther Apher Dial. 13:6-13.2009	Ratio of Platelet Reduction is an Early Predictive Factor for the Effectiveness of Leukocytapheresis for Ulcerative Colitis Patients	Kato J	消化器内科
Liver Int. 29:721-729.2009	Factors associated with adherence to combination therapy of interferon and ribavirin for patients with chronic hepatitis C: importance of patient's motivation and physician's treatment experience	Iwasaki Y	消化器内科
Int. J Cancer 124(8):1778-1784,2009	MET gene amplification of EGFR mutation activate MET in lung cancers untreated with EGFR tyrosine kinase inhibitors	Kiura K	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科
Lung Cancer 65(3):328-332,2009	DNA methylation in small lung adenocarcinoma with bronchioloalveolar carcinoma components	Kiura K	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科
Lung Cancer 65(3):284-289,2009	Effect of gefitinib on N-nitrosamine-4-(methylnitrosamino)-1-(3-pyridyl)-1-butanone induced lung tumorigenesis in A/J mice	Kiura K	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科
Plos One 4(11):1-6,2009	Twenty-seven years of phase III trials for patients with extensive disease small-cell lung cancer : disappointing results	Kiura K	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科
Acta Med. Okayama 64(1):33-37,2009	Triplet chemotherapy with cisplatin, docetaxel, and irinotecan for patients with recurrent or refractory non-small cell lung cancer	Kiura K	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科
J Thorac Oncol 5(1):99-104,2010	A phase II trial of erlotinib monotherapy in pretreated patients with advanced non-small cell lung cancer who do not possess active EGFR mutations : okayama lung cancer study group trial 0705	Kiura K	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
AJP January 176(1):402-415,2010	Multi-step aberrant cpG island hyper-methylation is associated with the progression of adult T-cell leukemia/lymphoma	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科
Support Care Cancer 18:395-398,2010	Fatal bacterial counts on oral mucosa after using a commercial saliva substitute in patients undergoing hematopoietic cell transplantation	Tanimoto M	血液・腫瘍内科 呼吸器・アレルギー内科
Int J Hematol 89:326-331,2009	The effect of adding rituximab to CHOP-based therapy on clinical outcomes for Japanese patients with diffuse large B-cell lymphoma : a propensity score matching analysis	Maeda Y	血液・腫瘍内科
Anticancer Research 29:1749-1754,2009	Efficacy and feasibility of IDEA therapy for refractory or relapsed non-hodgkins lymphoma	Maeda Y	血液・腫瘍内科
Anticancer 29(5):1763-1770,2009	Clinical outcomes of unrelated donor umbilical cord blood transplantation for 30 adults with hematological malignancies	Maeda Y	血液・腫瘍内科
Clin Cancer Res 15(10):3624-3632,2009	An imaging-based rapid evaluation method for complement-dependent cytotoxicity discriminated clinical response to rituximab-containing chemotherapy	Ennishi D	血液・腫瘍内科
Transfusion 49(11):2384-2389,2009	Prediction of number of apheresis procedures necessary in healthy donors to attain minimally required peripheral blood CD34+ cells	Kubonishi S	血液・腫瘍内科
Support Care Cancer 18:115-119,2010	Oral mucositis patients receiving reduced-intensity regimens for allogeneic hematopoietic cell transplantation : comparison with conventional regimen	Maeda Y	血液・腫瘍内科
Lung Cancer 65(1):74-79,2009	A phase I study of combination S-1 plus cisplatin chemotherapy with concurrent thoracic radiation for locally advanced non-small cell lung cancer	Takigawa N	呼吸器・アレルギー内科
Cancer Res 69(12):5091-5098,2009	Effects of vandetanib on lung adenocarcinoma cells harboring epidermal growth factor receptor T790M mutation in vivo	Ichihara E	呼吸器・アレルギー内科
Cancer Res 69(17):7088-7095,2009	Chemopreventive effects of gefitinib on nonsmoking-related lung tumorigenesis in activating epidermal growth factor receptor transgenic mice	Takigawa N	呼吸器・アレルギー内科
Lung Cancer 66(1):107-113,2009	Comprehensive analysis of EGFR signaling pathways in Japanese patients with non-small cell lung cancer	Hotta K	呼吸器・アレルギー内科
Cancer Sci 100(10):1931-1934,2009	Usefulness of cumulative smoking dose for indentifying the EGFR mutation and patients with non-small-cell lung cancer for gefitinib treatment	Hotta K	呼吸器・アレルギー内科
J Thorac Oncol 5(2):179-184,2010	Comparison of the incidence and pattern of interstitial lung disease during erlotinib and gefitinib treatment in Japanese Patients with non-small cell lung cancer : the Okayama Lung Cancer Study Group experience	Hotta K	呼吸器・アレルギー内科
Endocrine Abstracts 19:OC38,2009	Bone morphogenetic protein-2 and -4 enhance FSH-induction through oocyte-granulosa cell interaction.	Otsuka F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Endocrine Abstracts 19:164,2009	Inhibitory effects of bone morphogenetic proteins on estrogen-induced proliferation of breast cancer cells.	Otsuka F	腎臓・糖尿病・内分泌内科

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Physiol Endocrinol Metab 296:E904-E916,2009	Enhancement of aldosterone-induced catecholamine production by bone morphogenetic protein-4 through activating Rho and SAPK/JNK pathway in adrenomedullar cells.	Otsuka F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Journal of Endocrinology 203:87-97,2009	Regulation of GNRH production by estrogen and bone morphogenetic proteins in GT1-7 hypothalamic cells.	Otsuka F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Endocrinology 150:1921-1930,2009	p38-Mitogen-activated protein kinase stimulated steroidogenesis in granulosa cell-oocyte cocultures : role of bone morphogenetic proteins 2 and 4.	Otsuka F	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Nephron Clin Pract 113:c132-c139,2009	Beta-blocker prescription and outcomes in hemodialysis patients from the Japan dialysis outcomes and practice patterns study.	Nakao K	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Diabetes 58:2365-2375,2009	Vasohibin-1, a negative feedback regulator of angiogenesis, ameliorates renal alterations in a mouse model of diabetic nephropathy.	Maeshima Y	腎臓・糖尿病・内分泌内科
J Rheumatol 36:2218-2223,2009	Clinical usefulness of a prognostic score in histological analysis of renal biopsy in patients with lupus nephritis.	Sada KE	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Clinical Immunology 133:437-446,2009	Forced expression of suppressor of cytokine signaling 3 in T cells protects the development of concanavalin A-induced hepatitis in mice.	Wakabayashi H	腎臓・糖尿病・内分泌内科
J Hum Genet 54:230-235,2009	Screening of 336 single-nucleotide polymorphisms in 85 obesity-related genes revealed McKusick-Kaufman syndrome gene variants are associated with metabolic syndrome.	Wada J	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Acta Medica Okayama 63:349-358,2009	Inflammatory cytokine-induced expression of Vasohibin-1 by rheumatoid synovial fibroblasts.	Maeshima Y	腎臓・糖尿病・内分泌内科
Diabetologia 52:2037-2045,2009	Long-term effect of modification of dietary protein intake on the progression of diabetic nephropathy: a randomized controlled trial.	Makino H	リウマチ・膠原病内科
Am J Physiol Cell physiol 297:c945-c954,2009	Endothelial barrier protection by FTY720 under hyperglycemic condition: involvement of focal adhesion kinase, small GTPases, and adherens junction proteins.	Makino H	リウマチ・膠原病内科
Microvasc Res 77:304-313,2009	Enhanced interaction between focal adhesion and adherens junction proteins: involvement in sphingosine 1-phosphate-induced endothelial barrier enhancement.	Makino H	リウマチ・膠原病内科
Nephrol Dial Transplant 24:475-482,2009	Urinary excretions of lipocalin-type prostaglandin D synthase predict renal injury in type-2 diabetes: a cross-sectional and prospective multicentre study.	Makino H	リウマチ・膠原病内科
Heart Rhythm. 2009 Apr;6(4):487-92.	Differential effects of cardiac sodium channel mutations on initiation of ventricular arrhythmias in patients with Brugada syndrome.	Kusano K	循環器内科
Eur Heart J. 2009 Aug;30(15):1844-52.	Enhanced expression of haemoglobin scavenger receptor in accumulated macrophages of culprit lesions in acute coronary syndromes.	Kusano K	循環器内科
J Card Fail. 2009 Oct;15(8):709-16.	4-Hydroxy-2-nonenal induces calcium overload via the generation of reactive oxygen species in isolated rat cardiac myocytes.	Nakamura K	循環器内科
Heart Rhythm. 2009 Aug;6(8):1163-9.	Abnormal transmural repolarization process in patients with Brugada syndrome.	Kusano K	循環器内科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Vascular Medicine 14;29-36, 2009	Estradiol-induced, endothelial progenitor cell-mediated neovascularization in male mice with hind-limb ischemia	Kusano K	循環器内科
PLoS One. 4: e4553, 2009	Ancestral Origin of the ATTCT Repeat Expansion in Spinocerebellar Ataxia Type 10 (SCA10)	Matsuura T	神経内科
Hum. Mol. Genet. 18: 1229-1237, 2009	Tannic acid facilitates expression of the polypyrimidine tract binding protein and alleviates deleterious inclusion of CHRNA1 exon P3A due to an hnRNP H-disrupting mutation in congenital myasthenic syndrome	Matsuura T	神経内科
PLoS Genet. 5: e1000600, 2009	RNA gain-of-function in spinocerebellar ataxia type 8	Ikeda Y	神経内科
Gene 434: 29-34, 2009	The ATTCT repeats of spinocerebellar ataxia type 10 display strong nucleosome assembly which is enhanced by repeat interruptions	Matsuura T	神経内科
Free Radic. Biol. Med. 47: 1049-1056, 2009	Neuronal NOS and cyclooxygenase-2 contribute to DNA damage in a mouse model of Parkinson disease	Nagai M	神経内科
Brain Res. 1250: 232-241, 2009	Motor impairment and aberrant production of neurochemicals in human alpha-synuclein A30P+A53T transgenic mice with alpha-synuclein pathology	Abe K	神経内科
Mol. Biol. Evol. 26: 2573-2579, 2009	Alu-mediated acquisition of unstable ATTCT pentanucleotide repeats in the human ATXN10 gene	Matsuura T	神経内科
J. Neurosci. Res. 87: 3639-3648, 2009	Spinal anterior horn has the capacity to self-regenerate in amyotrophic lateral sclerosis model mice	Abe K	神経内科
Neurol. Res. 31: 316-321, 2009	Changes of Nogo-A and receptor NgR in the lumbar spinal cord of ALS model mice	Abe K	神経内科
J. Neurosci. Res. 87: 928-936, 2009	Progressive decrease in the level of YAPdeltaCs, prosurvival isoforms of YAP, in the spinal cord of transgenic mouse carrying a mutant SOD1 gene	Morimoto N	神経内科
Intern. Med. 48: 593-596, 2009	Efficacy of the free radical scavenger, edaravone, for motor palsy of acute lacunar infarction	Ohta Y	神経内科
J. Cereb. Blood Flow Metab. 29: 752-758, 2009	Induction of Parkinson disease-related proteins in motor neurons after transient spinal cord ischemia in rabbits	Abe K	神経内科
J. Neuropathol. Exp. Neurol. 68: 365-373, 2009	Mitochondrial alterations in transgenic mice with an H46R mutant Cu/Zn superoxide dismutase gene	Nagai M	神経内科
Am. J. Hum. Genet. 85: 544-557, 2009	Spinocerebellar ataxia type 31 is associated with "inserted" penta-nucleotide repeats containing (TGGAA) _n	Matsuura T	神経内科
J. Cereb. Blood Flow Metab. 29: 715-725, 2009	Dissociation and protection of the neurovascular unit after thrombolysis and reperfusion in ischemic rat brain	Abe K	神経内科
Cell Transplantation 18: 999-1002, 2009	Gene and stem cell therapy in ischemic stroke	Abe K	神経内科
Neurochem Res. 34: 707-710, 2009	Therapeutic strategy for ischemic stroke	Abe K	神経内科

小計 18 件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
EMBO Mol. Med. 1: 223-235, 2009	The 28-amino acid form of an APLP1-derived Abeta-like peptide is a surrogate marker for Abeta42 production in the central nervous system	Deguchi K	神経内科
Journal of the National Cancer Institute 101(18):1244-58, 2009	Analysis of fecal DNA methylation to detect gastrointestinal neoplasia.	Nagasaka T	消化管外科
J Gastroenterol Hepatol 24(4):574-580	Immunohistochemical staining of liver grafts with a monoclonal antibody against HCV-Envelope 2 for recurrent hepatitis C after living donor liver transplantation	Sadamori H	肝胆脾外科
Hepatogastroenterology 56(93):971-977	Refractory response to growth factors impairs liver regeneration after hepatectomy in patients with viral hepatitis	Yagi T	肝胆脾外科
Hepatogastroenterology 56(94-95):1511-1515	Anatomical subsegmentectomy in the lateral segment for hepatocellular carcinoma	Sadamori H	肝胆脾外科
Ann Thorac Surg 2010 Jun;89(6):1773-9.	Suppression of inflammatory cytokines during ex vivo lung perfusion with an adsorbent membrane	Oto T	呼吸器外科
Acta Med Okayama 63:129-135	Prospective longitudinal comparative study of health-related quality of life in patients treated with radical prostatectomy or permanent brachytherapy for prostate cancer	Saika T	泌尿器科
Int J Oncol 34: 657-663	Immunological aspects of REIC/Dkk-3 in monocyte differentiation and tumor regression	Watanabe M	泌尿器科
西日本泌尿器科 71:202-207	難治性尿路上皮癌および精巣腫瘍に対する化学療法 難治性精巣腫瘍にたいする3rd line化学療法としてのGemcitabine(GEM), Cisplatin(CDDP), Paclitaxel(PTX)併用療法の経験	稚賀 隆史	泌尿器科
Acta Med Okayama 63:263-272	Experimental and clinical studies on fluoroquinolone-insusceptible Escherichia coli isolated from patients with urinary tract infections from 1994 to 2007	Wada K	泌尿器科
Mol Cancer Res 7:1446-1455	Functional analysis of secreted caveolin-1 in mouse models of prostate cancer progression	Watanabe M	泌尿器科
J Endourol 23:495-502	Incidence, management, and prevention of perioperative complications of GreenLight HPS laser photoselective vaporization prostatectomy: experience in the first 70 patients	Araki M	泌尿器科
Int J Mol Med. 2009 Dec;24(6):789-94	REIC/Dkk-3 stable transfection reduces the malignant phenotype of mouse prostate cancer RM9 cells.	Watanabe M	泌尿器科
Prostate Cancer Prostatic Dis. 2009;12(3):301-9. Epub 2008 Dec 23.	Therapeutic effects of gelatin matrix-embedded IL-12 gene-modified macrophages in a mouse model of residual prostate cancer.	Watanabe M	泌尿器科
Brit J Dermatol. 2009; 161: 115-120.	Ichthyosiform eruptions in association with primary cutaneous T-cell lymphomas.	Morizane S	皮膚科
J Am Acad Dermatol. 2009; 60: 595-603.	A randomized double-blind trial of intravenous immunoglobulin for pemphigus.	Iwatsuki K	皮膚科
J Infectious Diseases. 2009; 200: 1078-1087.	Identification of epstein-barr virus (EBV)-infected lymphocyte subtypes by flow cytometric in situ hybridization in EBV-associated lymphoproliferative diseases.	Iwatsuki K	皮膚科

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Annals of Oncology. 2009; 21: 1032–1040.	Prognostic factors for mature natural killer (NK) cell neoplasms: aggressive NK cell leukemia and extranodal NK cell lymphoma, nasal type.	Iwatsuki K	皮膚科
J Dermatol. 2009; 36: 447–452.	Epidermolysis bullosa nevus arising in a patient with Dowling-Meara type epidermolysis bullosa simplex with a novel K5 mutation.	Iwatsuki K	皮膚科
Clin Exp Dermatol. 2009; 34: e732–e736.	Erythema multiforme-like contact reaction due to liquid formulated 2,2-dibromo-3-nitrilopropionamide (DBNPA): Involvement of cytotoxic T-lymphocyte reaction.	Fujii K	皮膚科
J Am Acad Dermatol. 2009; 61: 715–719.	A case of epidermolysis bullosa acquisita with clinical features of Brunsting-Perry pemphigoid showing an excellent response to colchicine.	Iwatsuki K	皮膚科
Clin Exp Dermatol. 2009; 34: e965–e967.	Human papillomavirus genome integration in multifocal vulvar Bowen's disease and squamous cell carcinoma.	Fujii K	皮膚科
Journal of Artificial Organs 2009;12:213–225	Safety, efficacy, and quality control of a photoelectric dye-based retinal prosthesis (Okayama University-type retinal prosthesis) as a medical device.	Toshihiko Matsuo	眼科
Neuropathology 29:454–459, 2009	Coexistence of Creutzfeldt-Jakob disease, Lewy body disease, and Alzheimer's disease pathology: An autopsy case showing typical clinical features of Creutzfeldt-Jakob disease.	Terada S	精神科神経科
Neurosurgery 65:884–888, 2009	Significant differences in the postoperative morphological and hemodynamic conditions of carotid arteries of patients undergoing stenting or endarterectomy with patch angioplasty	Tokunaga K	脳神経外科
Neurosurgery 65:146–152, 2009	Virtual Histology – intravascular ultrasound in assessment of carotid plaques: ex vivo study	Hishikawa T	脳神経外科
Neurological Research 31:407–413, 2009	Injection of muscimol, a GABAa agonist into the anterior thalamic nucleus, suppresses hippocampal neurogenesis in amygdala-kindled rats	Yasuhara T	脳神経外科
Brain Research 1296:127–136, 2009	Erythropoietin exerts anti-epileptic effects with the suppression of aberrant new cell formation in the dentate gyrus and upregulation of neuropeptide Y in seizure model of rats	Yasuhara T	脳神経外科
Brain Research 1254:120–127, 2009	Continuous intraventricular infusion of erythropoietin exerts neuroprotective/rescue effects upon Parkinson's disease model of rats with enhanced neurogenesis	Yasuhara T	脳神経外科
AJNR Am J Neuroradiol 30(3):603–607, 2009	Severity analysis of neurovascular contact in patients with trigeminal neuralgia: assessment with the inner view of the 3D MR cisternogram and angiogram fusion imaging	Date I	脳神経外科
Acta Med Okayama 63(1):1–7, 2009	Protein transduction method for cerebrovascular disorders	Ono S	脳神経外科
Stroke published online 40(11):e598–e605, 2009	Electrical stimulation of the cerebral cortex exerts antiapoptotic, angiogenic, and anti-inflammatory effects in ischemic stroke rats through phosphoinositide 3-kinase/akt signaling pathway	Yasuhara T	脳神経外科

小計 15 件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Brain Res 1295:203-217, 2009	The combined therapy of intrahippocampal transplantation of adult neural stem cells and intraventricular erythropoietin-infusion ameliorates spontaneous recurrent seizures by suppression of abnormal mossy fiber sprouting	Yasuhara T	脳神経外科
Mol Ther (Epub) 18(2):285-294, 2009	Enhanced antitumor efficacy of vasculostatin (Vstat 120) expressing oncolytic HSV-1	Kurozumi K	脳神経外科
Acta Physiol (Oxf) 197:65-74, 2009	Protective effects of exercise preconditioning on hindlimb unloading-induced atrophy of rat soleus muscle	Yasuhara T	脳神経外科
Am J Neuroradiol 30:845-850, 2009	Identification of the distal ring with use of fusion images with 3D-MR cisternography and MR angiography: application to paraclinoid aneurysms	Hishikawa T	脳神経外科
Journal of Neuroendovascular Therapy 3(2):79-85, 2009	頸動脈狭窄症に対するAngioguard XPを用いた頸動脈ステント留置術の治療成績—PercuSurge GuardWireによる治療成績との比較	徳永 浩司	脳神経外科
脊椎脊髄ジャーナル 22(3):254-259, 2009	Vertebroplastyの適応と成績	徳永 浩司	脳神経外科
脳神経外科速報 19(7):812-818, 2009	上錐体静脈単独の圧迫による三叉神経痛—3D MR cisternogram/angiogram multi-fusion imagingによる術前画像評価	伊達 勲	脳神経外科
とやま特別支援学年報 3:13-18, 2009	覚醒下言語野マッピングでの言語機能局在の同定について—脳腫瘍摘出時における覚醒下言語野マッピングの現状と課題	市川 智継	脳神経外科
脳卒中の外科 37:87-92, 2009	PICA-involved typeの破裂椎骨解離性動脈瘤に対する急性期治療—PICA灌流領域からの検討—	菱川 朋人	脳神経外科
Neurosci Lett	Dynamic changes in cortical NADH fluorescence in rat focal ischemia: evaluation of the effects of hypothermia on propagation of peri-infarct depolarization by temporal and spatial analysis.	Takeda Y	麻酔科蘇生科
Arthritis Rheum. 2010 Jan;62(1):250-7	Thalidomide dramatically improves the symptoms of early-onset sarcoidosis/Blau syndrome: its possible action and mechanism.	Morishima T.	小児科
Acta Paediatr. 2010 Mar;99(3):442-5. Epub 2009 Dec 10.	The effect of ascorbate on minor recurrent aphthous stomatitis.	Morishima T.	小児科
Int J Immunopathol Pharmacol. 2009 Jul-Sep;22(3):707-14	Thalidomide prevents formation of multinucleated giant cells (Langhans-type cells) from cultured monocytes: possible pharmaceutical applications for granulomatous disorders.	Morishima T.	小児科
Pediatr Int. 2009 Jun;51(3):399-404. Epub 2008 Oct 21	Preoperative management for tricuspid regurgitation in hypoplastic left heart syndrome.	Morishima T.	小児科
Pediatr Int. 2009 Feb;51(1):54-8.	Growth of infants with osteogenesis imperfecta treated with bisphosphonate.	Morishima T,	小児科
Nephrol Dial Transplant. 2009 Aug;24(8):2411-4. Epub 2009 Mar 25	NPHS1 gene mutation in Japanese patients with congenital nephrotic syndrome.	Aya K,	小児科
Pediatr Blood Cancer. 2009 Jul;52(7):808-13.	Outcome of recurrent or refractory acute lymphoblastic leukemia in infants with MLL gene rearrangements: A report from the Japan Infant Leukemia Study Group.	Miyamura T,	小児科
Brain Dev 31: 148-157, 2009	Complex partial status epilepticus in children with epilepsy.	Yoshinaga H	小児神経科

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Brain Dev 31: 435-441, 2009	Abnormal fast activity in infancy with paroxysmal downwards gaze.	Yoshinaga H	小児神経科
Pediatr Neurol. 41: 440-444, 2009	Age-dependent spike localization in various epileptic syndromes	Yoshinaga H	小児神経科
Brain Dev 31: 52-57, 2009	Predicting executive function task scores with the Rey-Osterrieth Complex Figure.	Watanabe K	小児神経科
Clin Neurophysiol 120: 1070-1077, 2009	Detection of changes of high-frequency activity by statistical time-frequency analysis in epileptic spikes	Kobayashi K	小児神経科
Epilepsy Res 86; 15-22, 2009	Spectral analysis of EEG gamma rhythms associated with tonic seizures in Lennox-Gastaut syndrome.	Kobayashi K	小児神経科
BJU Int. 104:790-4. 2009	Percutaneous radiofrequency ablation for unresectable pulmonary metastases from renal cell carcinoma	Kanazawa, S.	放射線科
J Vasc Interv Radiol. 20:1106-7. 2009	Long-term survival after radiofrequency ablation for pulmonary metastasis from hepatocellular carcinoma: report of two cases	Kanazawa, S	放射線科
J Clin Biochem Nutr 44: 28-40, 2009	Heme-Oxygenase-1 is an essential cytoprotective component in oxidative tissue injury induced by hemorrhagic shock.	Takahashi T	集中治療部
Shock 31:2576-82, 2009	Prevention of hemorrhagic shock-induced intestinal tissue injury by glutamine via heme oxygenase-1 induction.	Takahashi T	集中治療部
Gut. 58:604-605.2009	Narrow-band imaging for improving colorectal adenoma detection: Appropriate system function settings are required	Uraoka T	光学医療診療部
Transpl Int. 22:914-921.2009	Long-term outcomes of endoscopic management for biliary strictures after living donor liver transplantation with duct-to-duct reconstruction	Kato H	光学医療診療部
Acta Med Okayama 63:113-120, 2009	Supportive Intervention Using a Mobile Phone in Behavior Modification	Hiroki Okada	総合患者支援センター
日本遠隔医療学会雑誌 5:120-123, 2009	非山間部等におけるTV電話機能付携帯電話機を用いた遠隔医療に関する研究	岡田 宏基	総合患者支援センター
J Biol Chem. 2009 May 22;284(21):14236-44. Epub 2009 Mar 11.	Overexpression of REIC/Dkk-3 in normal fibroblasts suppresses tumor growth via induction of interleukin-7.	Kumon H	遺伝子・細胞治療センター
Molecular Cancer Therapeutics 8: 3001-3008, 2009	Selective metastatic tumor labeling with green fluorescent protein and killing by systemic administration of telomerase-dependent adenoviruses.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Journal of Clinical Investigation 119: 3172-3181, 2009	A simple biological imaging system for detecting viable human circulating tumor cells.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Proceedings of the National Academy of Sciences USA 106: 14514-14517, 2009	In vivo internal tumor illumination by telomerase-dependent adenoviral GFP for precise surgical navigation.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Molecular Cancer Therapeutics 8: 980-987, 2009	Preclinical evaluation of synergistic effect of telomerase-specific oncolytic virotherapy and gemcitabine for human lung cancer.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Clinical Cancer Research 15: 2335-2343, 2009	Telomerase-specific virotheranostics for human head and neck cancer.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Journal of Immunology 182: 1763-1769, 2009	A novel antiangiogenic effect for telomerase-specific virotherapy through host immune system.	Fujiwara T	遺伝子・細胞治療センター
Acad Med. 2009 Sep;84(9):1192-7.	Measurement of empathy among Japanese medical students: psychometrics and score differences by gender and level of medical education.	Kataoka HU	卒後臨床研修センター
Supportive Care in Cancer. 2009 May;17(5):581-7.	Febrile neutropenia and periodontitis: lessons from a case periodontal treatment in the intervals between chemotherapy cycles for leukemia reduced febrile neutropenia.	Yoshihiko Soga	歯周科
Dental Materials. 2009 Apr;25(4):424-30	Antibacterial effect of bactericide immobilized in resin matrix.	Shogo Takashiba	歯周科
Journal of Periodontology. 2009 Apr;80(4):663-71.	Assessment of chromosome 19 for genetic association in severe chronic periodontitis.	Shogo Takashiba	歯周科
Journal of Periodontal Research. 2009 Feb;44(1):103-9.	Human leukocyte histocompatibility antigen class II-induced cytokines from human gingival fibroblasts promote proliferation of human umbilical vein endothelial cells: potential association with enhanced angiogenesis in chronic periodontal inflammation.	Shogo Takashiba	歯周科
Journal of Dental Research. 2009 Dec;88(12):1137-41	Genetic Risk Factors for Periodontitis in a Japanese Population.	Shogo Takashiba	歯周科
Supportive Care in Cancer. 2010 Jan; 18(1):115-9.	Oral mucositis in patients receiving reduced-intensity regimens for allogeneic hematopoietic cell transplantation: comparison with conventional regimen.	Yoshihiko Soga	歯周科
FEMS Immunology and Medical Microbiology. 2010 Mar; 58(2):226-36	Highly expressed genes in a rough-colony-forming phenotype of Aggregatibacter actinomycetemcomitans: implication of a mip-like gene for the invasion of host tissue.	Hiroshi Maeda	歯周科
Supportive Care in Cancer. 2010 Mar;18(3):395-8.	Total bacterial counts on oral mucosa after using a commercial saliva substitute in patients undergoing hematopoietic cell transplantation.	Yoshihiko Soga	歯周科
感染防止(1340-9921)19巻2号 Page31-35(2009.04).	要介護高齢者に対する専門的口腔ケアの実施とその効果(解説/特集),	高柴 正悟	歯周科
日本歯周病学会会誌, 51(1):7-18, 2009.	線維芽細胞を中心とした歯周病・歯肉増殖症の病態形成に関する基礎的研究	成石 浩司	歯周科
岡山歯学会雑誌 (0913-3941)28巻1号 Page37-42(2009.06)	岡山大学病院周術期管理センター(歯科部門)設立後5ヶ月間の活動内容および今後の展開(原著論文/抄録あり).	曾我 賢彦	歯周科
日本口腔検査学会雑誌 2巻1号 Page45-49(2010.03)	周術期患者に対する口腔管理システムの樹立と評価	前田 博史	歯周科
日本口腔検査学会雑誌 2巻1号 Page8-13(2010.03)	メタボリック症候群の検査に取り入れられるか? 歯周感染の検査	高柴 正悟	歯周科

小計 16 件

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Endodontics 35:367-372, 2009	Simvastatin induces the odontogenic differentiation of human dental pulp stem cells in vitro and in vivo	Kuboki T	補綴科(クラウンブリッジ)
Neuroscience 159:1422-1429 2009	Botulinum toxin type A(150kDa) decreases exaggerated neurotransmitter release from trigeminal ganglion neurons and relives neuropathy behaviors induced by infraorbital nerve constriction	Matsuka Y	補綴科(クラウンブリッジ)
Molecular Pain 5;14-25, 2009	Increased peripheral nerve excitability and local NaV1.8 mRNA up-regulation in painful neuropathy	Matsuka Y	補綴科(クラウンブリッジ)
Blood 113:2595-2604, 2009	Mesenchymal stem cell-mediated ectopic hematopoiesis alleviates aging-related phenotype in immunocompromised mice	Sonoyama W	補綴科(クラウンブリッジ)
Journal of Oral Rehabilitation 36:362-367, 2009	Polyphosphoric acid treatment promotes bone regeneration around titanium implants	Maekawa K	補綴科(クラウンブリッジ)
Archives Oral Biology 54:241-249, 2009	Effect of capsaicin-evoked jaw-muscle pain on intramuscular blood-flow	皆木 省吾	補綴科(咬合・義歯)
老年歯科医学 24: 293-299, 2009	無歯顎患者の咬合・咀嚼リハビリテーションを目的とした総義歯の設計提案 新しいコンセプトに基づく咬合・嚥下床ならびに咀嚼・嚥下床を適用した一症例	皆木 省吾	補綴科(咬合・義歯)
老年歯科医学 24: 104-116, 2009	舌接触補助床(PAP)のガイドライン(案)	皆木 省吾	補綴科(咬合・義歯)
接着歯学 27: 141-146, 2009	最近のコンポジットレジン修復の光照射直後の窩洞辺縁部の間隙 硬化収縮と歯質接着強さとの関連	西川 悟郎	補綴科(咬合・義歯)
日本補綴歯科学会誌 1: 203-206, 2009	局部床義歯から固定性補綴装置に移行した上顎部分欠損症例	丸尾 幸憲	補綴科(咬合・義歯)
岡山医学会雑誌 121: 17-24, 2009	血管柄付腓骨皮弁移植とインプラントによる顎骨咬合再建の2例	丸尾 幸憲	補綴科(咬合・義歯)
日本顎関節学会雑誌 21: 222-227, 2009	顎関節症のスプリント治療に関する実態調査 大学病院顎関節症外来および一般開業歯科医院における診療時間の比較	兒玉 直紀	補綴科(咬合・義歯)
J Biomed Mater Res A 88 (3): 599-607, 2009.	Immobilized recombinant human bone morphogenetic protein-2 enhances the phosphorylation of receptor-activated Smads.	Yamachika E	口腔外科(再建系)
Int. J. Cancer 124,2347-2352. (2009)	Identification of CCDC62-2 as a novel cancer/testis antigen and its immunogenicity.	Domae S	口腔外科(病態系)
FEBS Lett 583,1006-1010. (2009)	Regulation of chondrocytic phenotype by micro RNA 18a: involvement of Ccn/Ctgf as a major target gene.	Sasaki A	口腔外科(病態系)
J.Oral Tissue Engineering 7,26-37. (2009)	Sonic Hedgehog Positively Regulates Odontoblast Differentiation by a BMP2/4 dependent Mechanism.	Shimo T	口腔外科(病態系)
Clinical Cancer Research 5,1981-1988. (2009)1	Neamine inhibits prostate cancer growth by suppressing angiogenin-mediated ribosomal RNA transcription.	Ibaragi S	口腔外科(病態系)
Molecular Cancer Research 7,415-424. (2009)	Angiogenin-stimulated Ribosomal RNA Transcription Is Essential for Initiation and Survival of AKT-induced Prostate Intraepithelial Neoplasia.	Ibaragi S	口腔外科(病態系)

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本口腔外科学会雑誌 55,177-183. (2009)	口腔進行癌に対するTS-1と放射線同時併用療法 -合併症をもつ高齢患者への適応、問題点と対策-	岸本 晃治	口腔外科(病態系)
岡山歯学会雑誌 28,43-50. (2009)	当科における口腔扁平上皮癌の治療成績 -第1報-	岸本 晃治	口腔外科(病態系)
岡山歯学会雑誌 28,51-59. (2009)	平均顔を用いた顔の印象の決定要素についての検討	志茂 剛	口腔外科(病態系)
歯科薬物療法 28,124-129. (2009)	シェーグレン症候群に伴う口腔乾燥症治療の検討-セビメン塩酸塩からピロカルピン塩酸塩への投与変更症例に関して-	目瀬 浩	口腔外科(病態系)
岡山歯学会雑誌 28,151-155. (2009)	当科におけるインプラント患者の臨床統計的検討	目瀬 浩	口腔外科(病態系)
Cancer Research 69,7135-7139. (2009)	Epithelial-mesenchymal transition and cell cooperativity in metastasis.	Ibaragi S	口腔外科(病態系)
岡山歯学会雑誌 28,179-184. (2009)	萎縮下顎歯槽堤に水平的歯槽骨延長術を併用してインプラント治療を行った1症例	目瀬 浩	口腔外科(病態系)
岡山歯学会雑誌 28,175-178. (2009)	顎裂骨移植後の口腔前庭狭小に対して遊離歯肉移植併用の口腔前庭拡張術を行った経験	岸本 晃治	口腔外科(病態系)
口腔顎顔面外傷学会雑誌 8,57-60. (2009)	自動草刈り機の刈刃片迷入による?部異物肉芽腫の1症例	塚本 剛一	口腔外科(病態系)
Oral Oncol. 2009 Jul;45(7):621-6.	Dynamic contrast-enhanced magnetic resonance imaging for estimating tumor proliferation and microvessel density of oral squamous cell carcinomas.	浅海 淳一	歯科放射線・口腔診断科
Int J Oncol 2009 Oct;35(4):893-900.	A new phantom using polyethylene glycol as an apparent diffusion coefficient standard for MR imaging.	浅海 淳一	歯科放射線・口腔診断科
Oncol Rep. 2009 Sep;22(3):641-8.	In vitro experimental study of the relationship between the apparent diffusion coefficient and changes in cellularity and cell morphology.	浅海 淳一	歯科放射線・口腔診断科
岡山歯学会雑誌 28(1), 61-63. 2009	岡山大学病院周術期管理センター(歯科部門)設立後5ヶ月間の活動内容および今後の展開	浅海 淳一	歯科放射線・口腔診断科
兵庫県医師会医学雑誌 第51巻第2号 別冊, 113-118, 2009.	当院での成人睡眠時無呼吸症候群における手術治療の評価	柳 文修	歯科放射線・口腔診断科
姫路聖マリア病院雑誌 20, 10-12, 2009.	BiPAPが奏効した重症SASの一例	柳 文修	歯科放射線・口腔診断科
in Bacterial DNA, DNA Polymerase and DNA Helicases. Walter D. Knudsen, Sam S. Bruns. Editors. Nova Science Publishers, pp. 187-224, 2009	Chapter VI. hTERT in cancer chemotherapy: A novel target of histone deacetylase inhibitors.	浅海 淳一	歯科放射線・口腔診断科
in Drug Resistant Neoplasms (Ethan G. Verrite. Editor) Nova Science Publishers, pp. 33-71, 2009	Role of O6-methyl guanine-DNA methyl transferase and the effect of O6-benzylguanine in cancer chemotherapy.	浅海 淳一	歯科放射線・口腔診断科

小計 17 件

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
COMPEL: Int J for Computation and Maths. in Electrical and Electronic Eng. 2009;28(5):1236-1248.	3D optimal design of open type magnetic circuit producing uniform field.	浅海 淳一	歯科放射線・口腔診断科
Open Dent J. 2009 Aug 13;3:173-6.	A case of unerupted lower primary second molar associated with compound odontoma.	浅海 淳一	歯科放射線・口腔診断科
Open Dent J. 2009 Mar 6;3:1-20.	Analysis of magnetic resonance images of disk positions and deformities in 1,265 patients with temporomandibular disorder.	浅海 淳一	歯科放射線・口腔診断科
岡山歯学会雑誌 28(1)・61-64・2009	小児患者における下顎側切歯部に認められた過剰歯の1例	浅海 淳一	歯科放射線・口腔診断科
J Biomed Mater Res A 2009 Apr;89(1):36-45.	Recombinant human bone morphogenetic protein-2/atelocollagen composite as a new material for ossicular reconstruction.	村上 純	歯科放射線・口腔診断科
J Periodontal Res. 2009 Aug;44(4):434-42.	Periodontitis-induced lipid peroxidation in rat descending aorta is involved in the initiation of atherosclerosis.	村上 純	歯科放射線・口腔診断科
Free Radic Biol Med. 2009 Jan 15;46(2):163-8.	Effects of vitamin C intake on gingival oxidative stress in rat periodontitis.	村上 純	歯科放射線・口腔診断科
Arch Oral Biol. 2009 May;54(5):495-502.	Vitamin C intake attenuates the degree of experimental atherosclerosis induced by periodontitis in the rat by decreasing oxidative stress.	村上 純	歯科放射線・口腔診断科
岡山歯学会雑誌 28巻2号 Page169-174,2009.	岡山大学病院特殊歯科総合治療部第一総合診療室障害者歯科治療部門より地域歯科へ紹介した患者について 地域連携クリニカルパス作成のための実態調査	北 ふみ	歯科麻酔科
The Bone 24(1)3-7 2009	骨細胞の3次元形態解析	上岡 寛	矯正歯科
Am J Orthod Dentofacial Orthop. Dec;136(6):868-77. 2009	Mandibular deviation and canted maxillary occlusal plane treated with miniscrews and intraoral vertical ramus osteotomy: functional and morphologic changes.	山城 隆	矯正歯科
Microsc Microanal. Oct;15(5):377-83. 2009	A method for observing silver-stained osteocytes in situ in 3-microm sections using ultra-high voltage electron microscopy tomography.	上岡 寛	矯正歯科
J Craniomaxillofac Surg. Oct;37(7):412-6.2009	Facial frontal morphological changes related to mandibular setback osteotomy using cephalograms.	山城 隆	矯正歯科
Angle Orthod. May;79(3):577-84.2009	Use of palatal miniscrew anchorage and lingual multi-bracket appliances to enhance efficiency of molar scissors-bite correction.	菅原 康代	矯正歯科
Neuroscience. Apr 10;159(4):1422-9.2009	Botulinum toxin type a (150 kDa) decreases exaggerated neurotransmitter release from trigeminal ganglion neurons and relieves neuropathy behaviors induced by infraorbital nerve constriction.	石原 嘉人	矯正歯科
Angle Orthod. Jan;79(1):78-84.2009	Distal movement of maxillary molars using miniscrew anchorage in the buccal interradicular region.	山城 隆	矯正歯科
J Med Invest. 56 Suppl:267-9.2009	Cevimeline enhances the excitability of rat superior salivatory neurons.	山城 隆	矯正歯科

(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Med Invest. 56 Suppl:264-6.2009	Immunohistochemical study on the distribution and origin of GABAergic nerve terminals in the superior salivatory nucleus.	山城 隆	矯正歯科
岡山歯学会雑誌 28(2)107-114,2009	岡山大学病院矯正歯科における来院患者の実態調査	山城 隆	矯正歯科
中・四国歯学会雑誌 22巻 1号 41-46.2009	上下顎移動中を適応した顎偏位を伴う骨格性下顎前突症例	本城 正	矯正歯科
Blood 113(20): 4894-902.2009	Increased signaling through p62 in the marrow microenvironment increases myeloma cell growth and osteoclast formation.	本城 正	矯正歯科
Dev Biol Feb 15;326(2):392-402.2009	Runx1 is involved in the fusion of the primary and the secondary palatal shelves.	山城 隆	矯正歯科
American Journal of Orthodontics and Dentofacial Orthopedics 135(4):536-48.2009	Bimaxillary protrusion with masseter muscle hypertrophy treated using titanium screw anchorage and masseter surgical reduction	上岡 寛	矯正歯科
Journal of Biomechanics 42(12)1989-1995, 2009	Calcium response in single osteocytes to locally applied mechanical stimulus: Differences in cell processes and cell body	上岡 寛	矯正歯科
Orthodontic Waves 68(4)171-177, 2009	Camouflage treatment using implant anchorage to the skeletal Class III patient	上岡 寛	矯正歯科
中・四国矯正歯科学会雑誌 21(1)47-53, 2009	外傷性咬合ならびに歯周疾患を伴う成人下顎前突症例	上岡 寛	矯正歯科
Biochemical and Biophysical Research Communications Vol. 389, No. 3, pp.495-500.2009	Asymmetric intercellular communication between bone cells:Propagation of the calcium signaling	上岡 寛	矯正歯科
Journal of Periodontology 80: 901-906, 2009	Short-term effects of non-surgical periodontal treatment on plasma level of reactive oxygen metabolites in patients with chronic periodontitis.	Tamaki N	予防歯科
Journal of Clinical Periodontology 36: 343-348, 2009	Retrospective study of teeth with a poor prognosis following non-surgical periodontal treatment.	Ekuni D	予防歯科
岡山歯学会雑誌 28巻2号 131-140,2009.	地域歯科医療機関と障害者歯科のかかわりに関するアンケート調査 地域連携クリニックカルパス作成のための実態調査	江草 正彦	特殊歯科総合治療部
岡山歯学会雑誌 28巻2号 141-150,2009.	岡山県内の障害者における歯の保持状況および齲歯の処置状況に関する横断調査 地域連携クリニックカルパス作成のための実態調査	森 貴幸	特殊歯科総合治療部
岡山歯学会雑誌 28巻2号 163-168,2009.	岡山大学病院摂食・嚥下リハビリテーション部門を受診した小児患者について 地域連携クリニックカルパス作成のための実態調査	有岡 享子	特殊歯科総合治療部

小計 15 件

合計 219 件

(注) 1 当該医療機関に所属する医師等が、掲載に当たって内容審査を行っている雑誌に研究成果を原著論文として申請の前年度に発表したものうち、高度の医療技術の開発および評価に資するものと判断されるものを100件以上記入すること(当該医療機関に所属する医師等が主たる研究者であるものに限る。)。

2 「発表者氏名」欄は、1つの論文発表について発表者が複数いる場合は、主たる発表者の氏名を記入すること。

(様式第12)

診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病院長 森田 潔
管理担当者氏名	総務課長 松原俊雅, 医事課長 志茂弘明, 各診療科長, 放射線部長 金澤 右, 医療情報部長 太田吉夫, 薬剤部長 千堂年昭, 看護部長 保科英子

		保管場所	管理方法
診療に関する諸記録			
病院日誌	各科診療日誌、手術記録、看護記録、検査所見記録、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書	総務課 各診療科 医療情報部 医事課	カルテ等病歴資料は、外来・入院別に1患者1ファイル方式として保管している。 エックス線写真は、1患者1ファイル方式で保管している。 なお、カルテ等病歴資料はコンピュータによる集中管理を行っている。
処方せん		薬剤部	
エックス線写真		放射線部	
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿 高度の医療の提供の実績 高度の医療技術の開発及び評価の実績 高度の医療の研修の実績 閲覧実績 紹介患者に対する医療提供の実績 入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	総務課 医事課 総務課 総務課 総務課 医事課 医事課 薬剤部	
第一則 号第一 に一 掲条 げの る十 体一 制第 の一確 項保 各の 号状 況び 第九 条の 二十三 第一 項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況 専任の院内感染対策を行う者の配置状況 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医療安全管理部 医療安全管理部 医療安全管理部 医療安全管理部 総務課 総務課 医療安全管理部 医療安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の管理 及び運営に 関する諸記 録	規則 第一 条の 十一 第一 項各号 及び 第九 条の 二十三 第一 項第一 号に 掲げ る体 制の 確 保 の 状 況	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
		院内感染対策のための委員会の開催状況	総務課 医事課
		従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の実施状況	感染制御部 医事課 総務課	
		医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	総務課
		従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	薬剤部
	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	薬剤部	
		医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	薬剤部
		医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	総務課
	医療機器の安全使用のための研修の実施状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療機器安全管理室
		医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療機器安全管理室
		医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	医療機器安全管理室 医療安全管理部

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。

(様式第13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	事務部長 小西 竹生
閲覧担当者氏名	総務課長 松原 俊雅
閲覧の求めに応じる場所	管理棟研究棟3階小会議室（病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧場所）

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前 年 度 の 総 閲 覧 件 数	延	0 件
閲 覧 者 別	医 師	延 0 件
	歯 科 医 師	延 0 件
	国	延 0 件
	地 方 公 共 団 体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹 介 率	.	%	算 定 期 間	平成21年4月1日～平22年3月31
算	A : 紹 介 患 者 の 数			16,273 人
出	B : 他の病院又は診療所に紹介した患者の数			20,884 人
根	C : 救急用自動車によって搬入された患者の数			1,073 人
拠	D : 初 診 の 患 者 の 数			26,602 人

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第13-2)

規則第1条の11第1項各号及び第9条の23第1項第1号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 指針の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 安全管理に関する基本的な考え方・ 医療事故発生時の対応方法・ 各部門ごとの安全管理マニュアル・ 患者からの相談への対応に関する基本方針他	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 12回
<ul style="list-style-type: none">・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療事故の防止及びその対策に関すること・ 医療事故防止マニュアルの作成に関すること・ 医療事故防止の教育・研修に関すること・ その他医療事故の防止に関すること	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 3回
<ul style="list-style-type: none">・ 研修の主な内容：<ul style="list-style-type: none">1 インシデントレポート報告制度について・医薬品の安全使用について2 顧問弁護士から病院職員へのメッセージー弁護士の目で見たリスクマネジメント3 もう一度確認しよう心肺蘇生法	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善の方策の状況	
<ul style="list-style-type: none">・ 医療機関内における事故報告等の整備・ その他の改善の方策の主な内容：・ マニュアルの整備・ インシデントレポートシステム・ リスクマネジャーの配置・ 医療事故等調査委員会・ 院内相互チェックの実施	(有・無)
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有(2名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有(1名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
<ul style="list-style-type: none">・ 所属職員： 専任(2)名 兼任(13)名・ 活動の主な内容：<ul style="list-style-type: none">・ 医療事故防止委員会の運営に関すること・ 医療事故防止対策の立案に関すること・ 医療事故・ニアミス報告の分析に関すること・ その他医療事故の防止、医療の安全性の向上・医療の質の向上に関すること	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	<input checked="" type="radio"/> 有 <input type="radio"/> 無									
<ul style="list-style-type: none">指針の主な内容：<ol style="list-style-type: none">院内感染対策に関する基本的な考え方委員会について感染制御部の業務内容院内感染対策のための職員教育及び研修感染症の発生状況の報告に関する基本方針院内感染発症時の対応に関する基本方針患者等に対する当該指針の閲覧に関する基本方針その他当院における院内感染対策の推進のために必要な基本方針										
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 57回									
<ul style="list-style-type: none">活動の主な内容：<table><tr><td>感染予防対策委員会</td><td>1回／月</td><td>合計12回</td></tr><tr><td>ICT全体会議</td><td>1回／月</td><td>合計12回</td></tr><tr><td>感染制御部スタッフ会議</td><td>2回／月</td><td>合計21回</td></tr></table><p>以上3委員会は、それぞれ連携して以下の活動をする</p><ul style="list-style-type: none">耐性菌サーベイランス、侵襲的処置別感染症サーベイランス感染予防対策立案と指導、マニュアルの管理抗菌薬使用の管理ICTとの連携重症感染症、特殊感染症の診断及び治療に関するコンサルテーション感染予防対策に関する教育及び研修の企画運営針刺し、体液汚染事故に関するサーベイランスと事故への対応及び予防対策の立案指導その他医療従事者の感染予防と発症時の指導(結核、流行性疾患など)医療廃棄物の取り扱いの管理と指導、環境整備に関する管理と指導その他の感染予防対策上の問題への関与<p>看護部感染対策委員会 1回／月 合計12回 手指衛生のコンプライアンスの測定と改善 感染防止の視点からの看護手順の作成 医療廃棄物の適切な処理の状況把握と指導</p>		感染予防対策委員会	1回／月	合計12回	ICT全体会議	1回／月	合計12回	感染制御部スタッフ会議	2回／月	合計21回
感染予防対策委員会	1回／月	合計12回								
ICT全体会議	1回／月	合計12回								
感染制御部スタッフ会議	2回／月	合計21回								
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 42回									
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容：<ol style="list-style-type: none">全職員対象院内感染対策講習会 2回／年(同じ内容で2回ずつ計4回)<ul style="list-style-type: none">スクリーニング・アリューション、結核の院内感染予防とトリアージ診療、針刺し事故防止について培養検査における検体の採取と取扱い、冬季における腸管感染症とその感染対策全職員対象院内感染対策講演会 1回／年新規採用者研修 1回／年中途採用者研修 3回／年主に看護師対象感染防止技術研修会 10回／年<ul style="list-style-type: none">内容) 感染予防対策に関する基本的な事項、Device関連の感染予防策、流行性疾患対策など部署別手指衛生教育 23回／年<ul style="list-style-type: none">内容) 手指衛生の重要性と方法										
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善の方策の状況										

- 病院における発生状況の報告等の整備
- その他の改善のための方策の主な内容：

(有) (無)

その年のスローガンを決め、強化をする。

平成21年度は、手指衛生のコンプライアンスの改善をスローガンとし、手指衛生コンプライアンスの測定と、アルコール手指消毒剤の使用状況の把握、手洗いの洗い残しチェック（グリッターバグ使用）をするなど、手指衛生教育の充実を図った。

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	(有) 無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	1年 2回
<ul style="list-style-type: none">研修の主な内容： 平成 21 年 5 月 歯科研修医セミナー -歯科診療で安全に薬を使用するために- 平成 21 年 7 月 医療安全に関する職員全体研修 -医薬品の安全使用について-	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">手順書の作成 (有) 無業務の主な内容： 業務手順書に基づき、各担当部署においてチェックリストを作成し、定期的（月1回程度）実施状況の確認を行っている。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
<ul style="list-style-type: none">医薬品に係る情報の収集の整備 (有) 無その他の改善の方策の主な内容： 毎月、業務手順書に基づき、薬品情報室にて収集した情報は、情報誌（DI News）を各診療科、看護部、中央診療部へ配布し情報提供を行っている。 重篤な情報は処方医宛にmailにて配信している。	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年 4 回
・ 研修の主な内容 :	
1. 人工心肺装置 : 体外循環装置の安全操作に関する実技講習会の受講 (学会主催のもの) 2. 人工呼吸器 : 機器の取り扱いと注意事項について 3. 血液浄化装置 : 同上 4. 除細動装置 : 同上 5. 閉鎖式保育器 : 同上 6. X線テレビ装置の安全性 (新規導入機器使用説明会) 7. MRI 装置の安全性 8. X線撮影装置の安全管理 9. 放射線治療装置の安全管理 10. 婦人科領域における RALS 治療法 (看護師対象) 11. RALS 線源交換及び線源強度公正方法 (放射線技師対象)	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
・ 計画の策定 (有) ・ 保守点検の主な内容 :	
1. 人工心肺装置 : 定期点検 (年1回) 、日常点検 (始業点検／終業点検) 2. 人工呼吸器 : 定期点検(年2回)、使用前点検 3. 血液浄化装置 : 定期点検(年2回)、使用前点検 4. 除細動装置 : 定期点検(年2回) 5. 閉鎖式保育器 : 定期点検(年2回) 6. X線装置 : 別添のとおり	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善の方策の実施状況	
・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有) ・ その他の改善の方策の主な内容 :	
「人工心肺装置における安全設置基準」の遵守および「人工心肺装置の標準的接続方法およびそれに応じた安全教育等に関するガイドライン」の遵守。またそれに準じたマニュアルの整備 「シリンジポンプ閉塞警報時の巻き戻し機能に関する注意喚起、シリンジサイズと巻き戻し量と推奨するシリンジサイズに関する通知	

岡山大学病院 保守点検を必要とする医療機器一覧(平成22年度)

岡山大学病院 保守点検を必要とする医療機器一覧(平成22年度)

部品番号	部門	部屋名	装置会社	装置名・型式	ser	定格出力	設置年月	経過年数	保守点検状況	点検回数	点検予定期											
											4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
29	中央放射線部	No.18	日立メディコ	CUREVISTA	KCR0825902	80kV/1000mA 150kV/500mA 125kV/4mA(透視)	2009/3/27	1	外部委託	4	△		△		△		△		△			
30	中央放射線部	東1 救急外来	日立メディコ	シリウス130HP	SX10666716	40kV/200mA 130kV/90mA	2008/1/18	2	外部委託	1		○										
31	中央放射線部	東2 PICU	日立メディコ	シリウス130HP	SX10666719	40kV/200mA 130kV/90mA	2008/1/18	2	外部委託	1		○										
32	中央放射線部	東2 保管庫	日立メディコ	シリウス125MP	SX11416302	60kV/180mA 125kV/95mA	2003/3/27	7	外部委託	1		○										
33	中央放射線部	東3 ICU	日立メディコ	シリウス130HP	SX10666717	40kV/200mA 130kV/90mA	2008/1/18	2	外部委託	1		○										
34	中央放射線部	東3 ICU	日立メディコ	シリウス125MP	SX11416305	60kV/180mA 125kV/95mA	2003/3/27	7	外部委託	1		○										
35	中央放射線部	西3 HCU	日立メディコ	シリウス125MP	SX11416303	60kV/180mA 125kV/95mA	2003/3/27	7	外部委託	1		○										
36	中央放射線部	東4 NICU	日立メディコ	シリウス125MP	SX18562808	60kV/180mA 125kV/95mA	1999/3/30	11	外部委託	1		○										
37	中央放射線部	東6 保管庫	日立メディコ	シリウス130HP	SX12935509	40kV/200mA 130kV/90mA	2006/1/23	4	外部委託	1		○										
38	中央放射線部	東8 保管庫	日立メディコ	シリウス130HP	SX10666718	40kV/200mA 130kV/90mA	2008/1/18	2	外部委託	1		○										
39	中央放射線部	北3 CCU	日立メディコ	シリウス130HP	SX11128807	40kV/200mA 130kV/90mA	2009/1/22	1	外部委託	1		○										
40	中央放射線部	北3 ICU	日立メディコ	シリウス130HP	SX11128806	40kV/200mA 130kV/90mA	2009/1/22	1	外部委託	1		○										
41	中央放射線部	北3 手術室	日立メディコ	シリウス125MP	SX10666207	60kV/180mA 125kV/95mA	1999/3/30	11	外部委託	1		○										
42	中央放射線部	北3 手術室	日立メディコ	シリウス130HP	SX11128808	40kV/200mA 130kV/90mA	2009/1/22	1	外部委託	1		○										

◎:保守委託契約に基づく定期点検予定

○:スポット点検実施予定

△:(推奨)スポット点検予定